

好男好女 (1995)

好男好女

GOOD MEN, GOOD WOMEN

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 台湾／日本

色彩 Color

時間 108分

初公開日 1995/12/09

公開情報 松竹富士

【解説】

1950年代の台湾を襲った“白日テロ”を題材にした侯孝賢監督作品。現代の台北。映画「好男好女」の蔣碧玉の役を演じることになっている女優・梁静は見知らぬ者に日記を盗まれてその者から無言電話をかけられ、その日記をファックスで送られている。そんな中、梁静は次第に自分の過去を思い起こしていた――銃殺された恋人、阿威と過ごした短い時間――やがて彼女は自分が蔣碧玉と同一化していくのを感じ始めていた……。この作品には“映画の中の映画”、現代の現実社会、ごく最近の過去という三つの流れがある。台北に生きる若い女優を主人公にして、過去の出来事は彼女がこれから演じるであろう劇中劇という形で進行し、現代の台北でのヒロインの日常と、ヒロインの想像として提示される過去の悲恋の物語という、一見大きな隔たりがあるように思えながら、微妙なところで次第に重なり合ってくる2つのラブ・ストーリーが並行して展開してゆくという構造だ。この映画で描かれている、台湾の知識階級の人々が反政府分子の疑いで次々と投獄、処刑されたという時代は、台湾では長いこと触れることがタブーとされていたが、侯孝賢は本作でこれを実在した人物をモデルとする一種の恋物語として仕上げている。

【クレジット】

監督	ハウ・シャオシエン	Hou Hsiao-Hsing
製作総指揮	奥山和由	Kazuyoshi Okuyama
	ヤン・ダンクイ	
脚本	チュー・ティエンウエン	Chu Tien-wen
撮影	チェン・ホアイエン	
音楽	ジャン・シャオウエン	
出演	伊能静	
	カオ・ジエ	Kao Jai
	リン・チャン	Lim Giong
	ウェイ・シャホエイ	Wei Hsiao-hui